

平成22年度仙台市立仙台高等学校「学校評価」報告

1. 仙台高等学校『学校評価』(生徒)集計表

4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない 0:分からない

No.	質問項目	1年						2年						3年					
		μ*	4	3	2	1	0	μ	4	3	2	1	0	μ	4	3	2	1	0
1	予習・復習などの準備をしっかりと授業に臨んでいますか。	2.39	5%	38%	45%	10%	3%	2.17	3%	31%	44%	20%	3%	2.30	3%	37%	41%	15%	3%
2	授業で先生の話にはしっかりと耳を傾け、理解しようとしていますか。	3.24	29%	65%	4%	1%	0%	3.15	31%	54%	12%	2%	1%	3.16	31%	52%	11%	2%	0%
3	ベルが鳴った時点で着席し、ノート・教科書を準備していますか。	3.48	54%	38%	7%	0%	1%	3.31	48%	38%	11%	3%	1%	3.33	45%	42%	6%	4%	3%
4	学校への提出物の期限は守っていますか。	3.09	28%	52%	16%	2%	2%	3.17	40%	38%	11%	3%	2%	3.06	33%	41%	16%	6%	3%
5	クラスの仕事を責任をもって果たしていますか。	3.34	40%	44%	9%	0%	8%	3.21	36%	50%	9%	3%	3%	3.18	33%	41%	16%	6%	4%
6	学校行事・生徒会などの特別活動に積極的に参加していますか。	3.07	34%	39%	16%	6%	6%	2.92	32%	39%	14%	13%	3%	2.87	24%	44%	21%	7%	3%
7	学校の施設設備を大切に使っていますか。	3.54	56%	40%	1%	1%	2%	3.40	54%	34%	5%	5%	2%	3.39	48%	43%	5%	2%	3%
8	あなたは、ゴミの分別や節電といった省エネに努めていますか。	3.09	30%	47%	16%	3%	5%	3.06	35%	39%	17%	6%	1%	3.21	37%	45%	12%	2%	2%
9	あなたは交通ルールやマナーをきちんと守っていますか。	3.30	41%	45%	12%	0%	5%	3.27	35%	39%	17%	6%	3%	3.25	36%	50%	8%	2%	3%
10	部活動に充実感を感じていますか。	3.15	36%	26%	17%	3%	0%	3.02	38%	27%	20%	8%	7%	2.97	36%	22%	16%	12%	14%
11	教育課程は自分の将来のために工夫されていると思いますか。	2.59	8%	44%	25%	9%	1%	2.78	16%	45%	28%	4%	8%	2.43	7%	37%	27%	15%	13%
12	教科書の内容を理解するにあたって分かりやすい授業が多いですか。	2.53	4%	46%	40%	4%	7%	2.63	9%	48%	37%	4%	3%	2.55	5%	46%	35%	6%	8%
13	先生方に学習上の疑問を相談しやすいですか。	2.28	5%	32%	45%	15%	3%	2.48	12%	31%	41%	10%	7%	2.54	11%	41%	31%	12%	5%
14	悩みごとを先生に相談しやすいですか。	1.87	0%	15%	45%	15%	3%	2.28	9%	24%	43%	16%	9%	2.33	9%	33%	26%	21%	10%
15	具体的で親身な進路指導が行われていると思いますか。	2.61	8%	43%	29%	6%	15%	2.76	16%	44%	29%	5%	7%	2.78	17%	47%	21%	8%	7%
16	課外学習や模擬試験は実力養成に役立っていますか。	2.80	16%	45%	26%	4%	10%	2.68	16%	35%	35%	5%	10%	2.72	14%	40%	26%	6%	12%
17	仙台高校のホームページは充実していると思いますか。	2.50	6%	24%	18%	8%	40%	2.33	5%	23%	31%	10%	32%	2.41	7%	22%	24%	11%	33%
18	校舎内外はきれいに清掃されていると思いますか。	2.75	15%	47%	26%	6%	7%	2.82	21%	42%	24%	7%	7%	2.69	12%	45%	28%	7%	7%
19	あなたは仙台高等学校に入学してよかったと思いますか。	2.82	15%	46%	14%	8%	17%	3.01	29%	46%	12%	8%	6%	2.92	27%	40%	12%	12%	7%
20	少人数授業は、学習に効果的であると思いますか。	2.88	19%	39%	17%	6%	16%	3.09	33%	36%	17%	4%	10%	2.87	18%	45%	18%	6%	2%

*μ:平均値 なお、割合は小数第一位で四捨五入して示している。

・平均値が高い項目は、どの学年であっても、7「施設設備を大切に使う」、3「ベル着席」であり、これは前年度の調査と同じである。特にベルと同時に授業をスタートして、45分をフル活用することは定着している。全般的に前年度より生徒の学校生活態度が良好である。

・第1学年では、家庭学習指導を強化したこともあり、1「予習復習の準備」は他の学年より良好であり、それは模擬試験等の成績にも反映している。

・平均値の低い項目は、第1学年では14「悩み事を先生に相談しやすい」、13「先生方に学習上の疑問を相談しやすい」となっていて、第2学年と第3学年では1「予習復習の準備」、14「悩み事を先生に相談しやすい」である。したがって、より適切な予習復習の指導や、教員と生徒とがより話しやすい環境作りが昨年に引き続き必要であると考えられる。

2.仙台高等学校『学校評価』(保護者)集計表

4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない 0:分からない

No.	質問項目	1年						2年						3年					
		μ	4	3	2	1	0	μ	4	3	2	1	0	μ	4	3	2	1	0
1	学校の教育目標・教育方針を知っていますか。	3.13	24%	50%	12%	0%	11%	3.08	24%	53%	15%	1%	7%	3.16	29%	51%	12%	1%	7%
2	学校行事は時期、種類とも適切に行われていると思いますか。	3.23	33%	50%	10%	1%	7%	3.23	32%	54%	8%	1%	5%	3.19	30%	61%	7%	2%	1%
3	学校が出す便り(学校・学年・学級)の内容は適切ですか。	3.10	22%	55%	11%	1%	10%	3.26	28%	51%	6%	0%	15%	3.23	28%	62%	6%	0%	4%
4	学校からの配布物はきちんと届いていますか。	2.98	30%	37%	23%	5%	4%	2.83	32%	26%	22%	13%	6%	3.09	41%	29%	23%	4%	3%
5	お子様は家庭で積極的に学習に取り組んでいると思いますか。	2.68	14%	41%	38%	4%	2%	2.56	12%	38%	33%	10%	5%	2.87	24%	43%	27%	5%	1%
6	学校は家庭との連携をとりながら生活指導をしていると思いますか。	2.81	12%	48%	21%	4%	15%	2.78	12%	45%	27%	2%	11%	2.91	19%	53%	17%	5%	5%
7	お子様は悩みごとを先生に相談しやすいと思いますか。	2.51	8%	31%	33%	7%	20%	2.85	12%	46%	22%	1%	17%	2.75	17%	43%	27%	6%	7%
8	お子様は交通ルールやマナーをしっかりと守っていると思いますか。	3.37	40%	48%	6%	0%	5%	3.22	28%	57%	6%	1%	7%	3.28	37%	50%	9%	1%	3%
9	お子様は部活動に充実感を感じていると思いますか。	3.07	41%	27%	19%	8%	6%	3.36	49%	31%	8%	4%	7%	3.02	34%	35%	17%	8%	7%
10	行事や生徒会活動など、お子様は教科以外の学校活動に積極的に参加していると思いますか。	3.14	37%	37%	16%	4%	6%	3.26	35%	44%	10%	1%	9%	3.00	30%	41%	23%	3%	3%
11	具体的に親身な進路指導が行われていると思いますか。	2.84	14%	41%	21%	3%	20%	3.03	18%	54%	15%	0%	13%	3.29	45%	38%	9%	4%	3%
12	課外講習や模擬試験はお子様の実力養成に役立っていると思いますか。	3.03	24%	46%	21%	0%	10%	2.86	18%	54%	15%	0%	13%	3.12	45%	38%	9%	4%	3%
13	校舎内外はきれいに清掃されていると思いますか。	2.89	17%	42%	18%	4%	19%	3.10	22%	55%	11%	1%	11%	3.08	25%	56%	7%	5%	7%
14	事務室は学校窓口として親切的な電話の対応を行っていると思いますか。	3.26	24%	36%	7%	0%	32%	3.32	29%	37%	4%	1%	27%	3.43	43%	48%	2%	1%	6%
15	学校はホームページで保護者の知りたい情報を発信していると思いますか。	2.95	8%	37%	10%	0%	45%	2.88	7%	45%	15%	0%	32%	2.88	8%	50%	13%	2%	27%
16	PTA活動は充実していると思いますか。	3.03	11%	43%	8%	1%	37%	3.00	11%	55%	7%	2%	25%	3.03	13%	57%	9%	1%	18%
17	お子様を仙台高等学校へ入学させてよかったと思いますか。	3.26	36%	36%	12%	1%	14%	3.56	58%	31%	5%	0%	6%	3.32	48%	38%	6%	5%	3%
18	「Sharing(環境教育広報紙)」・昨年度まで実施のエコプラン講演会・生徒会活動を通して家庭でのお子様の省エネ意識は高まったと思いますか。	2.52	7%	30%	27%	7%	30%	2.59	8%	35%	32%	4%	20%	2.64	7%	44%	29%	4%	16%

・平均値が全体で共通して高いのは、17「入学させて良かった」や14「事務室の対応が適切」である。また、第2学年では9「子どもが部活動で充実」、第3学年では11「親身な進路指導」が挙げられており、前年度の調査と比較して今年度も概ね保護者の学校へ対する評価は良いものである。

・平均値が低い項目としては、18「子どもの省エネ意識」、5「積極的な家庭学習」、7「先生に悩み事を相談」であり、これに加えて第2学年では6「家庭と学校との連携した生徒指導」が挙げられている。したがって、保護者は家庭学習の促進や、子どもと教師とが悩みなどを相談できる環境を作ってもらいたいと考えているのではないかと推測される。

3.仙台高等学校『学校評価』(教職員)集計表

4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない 0:分からない

No.	質問項目	合計					
		μ	4	3	2	1	0
1	教育目標や教育方針、本校が目指している生徒像を、生徒や保護者に知らせていますか。	3.35	40%	53%	6%	0%	2%
2	本校では、学校の教育目標や計画の達成に対する関心が高いと思いますか。	3.24	28%	62%	6%	0%	4%
3	本校の教育課程は、生徒一人ひとりの進路希望の実現に役立つと思いますか。	3.35	40%	53%	6%	0%	2%
4	生徒の家庭学習の時間を確保するように指導していますか。	3.27	36%	51%	9%	0%	4%
5	生徒にとってわかりやすい授業を実践するように努めていますか。	3.50	51%	45%	2%	0%	2%
6	研究授業・公開授業の実施によって学習指導技術の研究と共有化を図っていますか。	3.31	38%	53%	8%	0%	2%
7	身だしなみや言葉遣い、交通ルールの遵守など、マナーや規範に対する意識を高めるよう努めていますか。	3.50	49%	49%	0%	0%	2%
8	不適応や問題行動への適切な指導をしていますか。	3.38	42%	53%	4%	0%	2%
9	生徒が部活動に生き生きと取り組めるような指導ができていますか。	3.37	43%	47%	8%	0%	2%
10	生徒にとって具体的に親身な進路指導を行っていますか。	3.40	42%	55%	2%	0%	2%
11	生徒との面談や個人指導など、生徒と接する時間は十分にとれていますか。	3.04	23%	57%	19%	0%	2%
12	環境教育を通して、生徒の環境保護意識を育てることができていますか。	2.82	11%	55%	28%	0%	6%
13	フェニックスプランは、学ぶ意欲の向上や意思決定能力の育成、学力の向上につながっていますか。	3.14	25%	60%	8%	2%	6%
14	職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能していますか。	3.10	26%	53%	17%	0%	4%
15	教育活動は、教職員の共通理解を得て実施されていると思いますか。	3.04	19%	62%	15%	0%	4%
16	本校の職員として、学校の教育活動に充実感をもって参加できていますか。	3.38	42%	53%	4%	0%	2%
17	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができていますか。	3.15	34%	45%	19%	0%	2%
18	日々の業務遂行にあたり、多忙感がありますか。	3.38	49%	38%	11%	0%	2%
19	個人情報が出さないよう、セキュリティを確保していますか。	3.50	53%	42%	4%	0%	2%
20	単位制の教育システムや35人学級は生徒の学力向上につながると期待していますか。	3.50	53%	42%	4%	0%	2%

・平均値が高い項目は、5「わかりやすい授業実践」、7「生活態度の指導」、19「セキュリティの確認」、20「教育制度が学力向上につながることへの期待」である。これらの上位4項目は、平均値の値が3.50と高く、教師は生徒の学力向上を期待し、それに応えようと授業実践や生活指導などに力を入れている傾向があると推測される。

・平均値が低い項目は、12「環境教育」、15「教育活動に対する教師間連携」についてである。特に15「教育活動に対する教師間連携」の項目は、前年度も平均値が低い項目であったため、学校内での教職員同士の連携については、前年度から引き続き、対応して行かなくてはならない課題であると考えられる。これについては、同一学年内や各分掌内では、十分に連携が取れているものの他学年や他の分掌との連携については、まだ十分ではない場合もあるので、引き続き部長主任会議等での連絡調整を密にしていきたい。

4.学校教育に関する意識調査分析

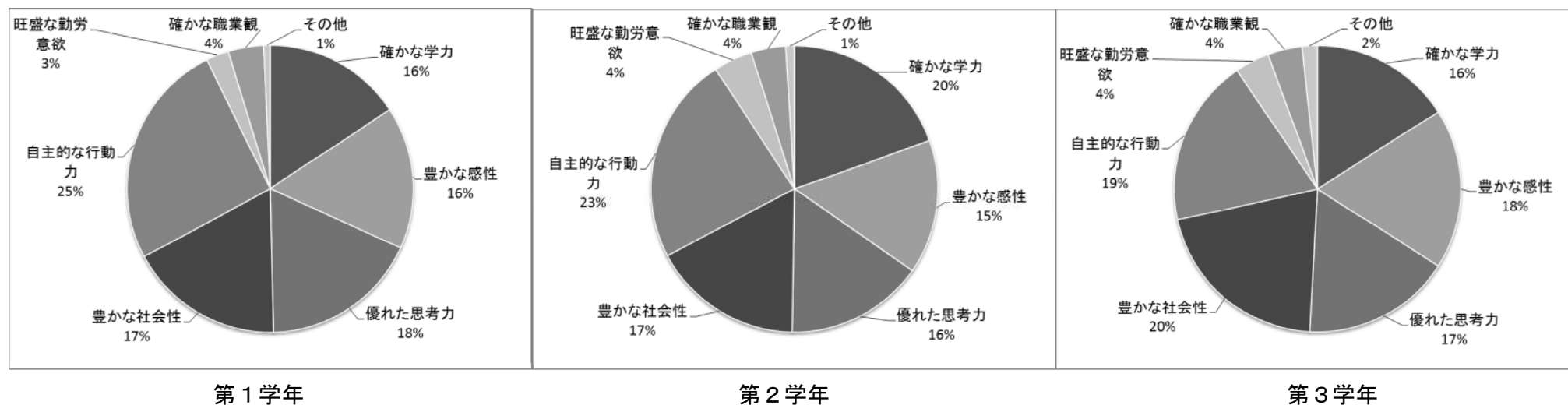
項目1 質問内容

次のうち、仙台高校の学校教育で特に身につけたいものはどれですか。

次のうち、仙台高校の学校教育において特に何を重点的に育成すべきとお考えですか。

- 1.確かな学力 2.豊かな感性 3.優れた思考力 4.豊かな社会性 5.自主的な行動力 6.旺盛な勤労意欲 7.確かな職業観 8.その他

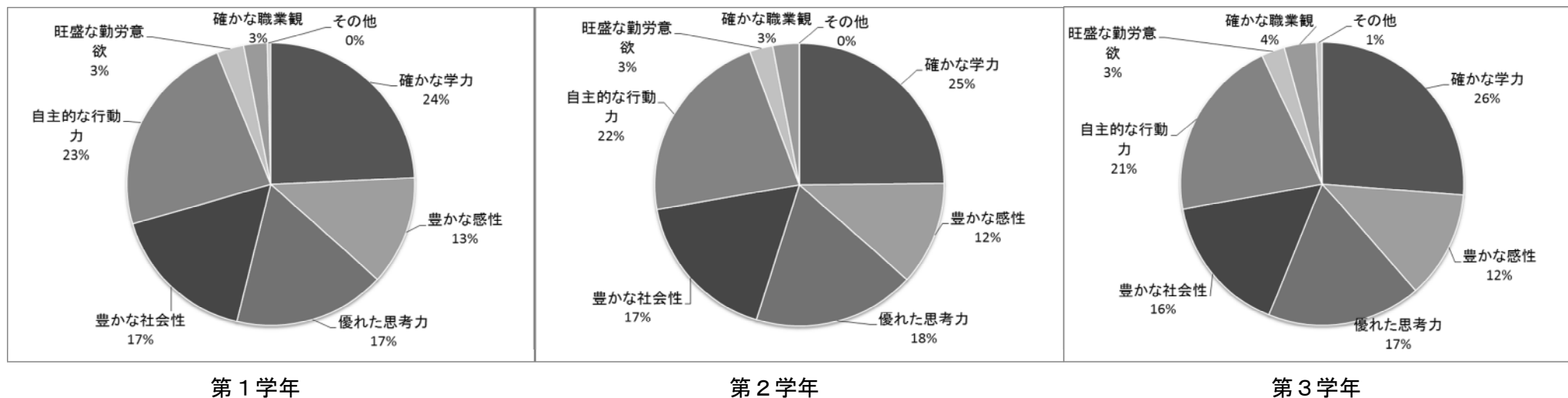
項目1 生徒学年間比較



[結果]

第1学年と第2学年では「自主的な行動力」を育成すべきであるという回答が上位であった。一方、第3学年では「豊かな社会性」を育成すべきであるという回答が最も上位となった。また、特徴的なところとして、第2学年と第3学年で「確かな学力」を育成すべきと回答した者の割合が昨年と比較して僅かに高くなっている。特に第2学年では、他学年と比較して高い割合で「確かな学力」の育成を期待していることが伺える。

項目 1 保護者学年間比較



[結果]

前年度と同様に学年が上がるにつれて、保護者は「確かな学力」の育成を期待している割合が高い。次いで「自主的な行動力」となっている。特に、第 3 学年の保護者の回答については、上位の項目である「確かな学力」と「自主的な行動力」は前年度と同様である。このことは当該項目への一層の期待があるのか、それとも保護者の要求への対応が不完全であったのかはわからないが、これは今後の育成課題を考える上で重要な指標となり得るものと考えられる。

一方、キャリア教育と関係する「旺盛な勤労意欲」や「確かな職業観」の育成を期待している割合は全体的に低くなっている。

項目1 生徒・保護者・教員三者間比較

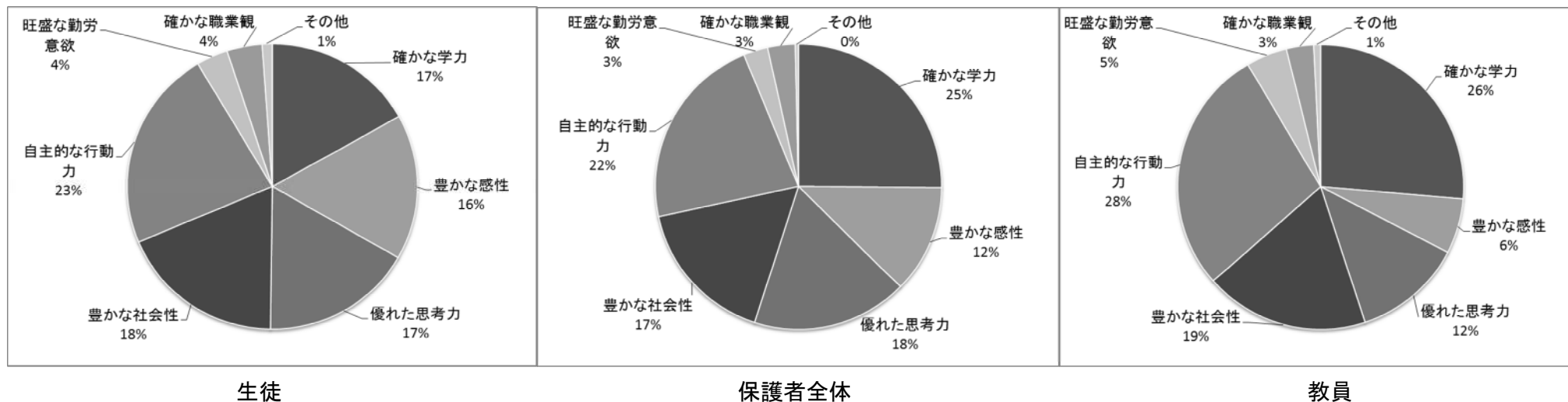


表 1-2 三者間の回答傾向の比較(左の選択肢ほど回答者の割合が高い)

生徒	自主的な行動力	豊かな社会性	確かな学力	優れた思考力	豊かな感性	確かな職業観	旺盛な勤労意欲
保護者	確かな学力	自主的な行動力	優れた思考力	豊かな社会性	豊かな感性	確かな職業観	旺盛な勤労意欲
教員	自主的な行動力	確かな学力	豊かな社会性	優れた思考力	豊かな感性	旺盛な勤労意欲	確かな職業観

[結果]

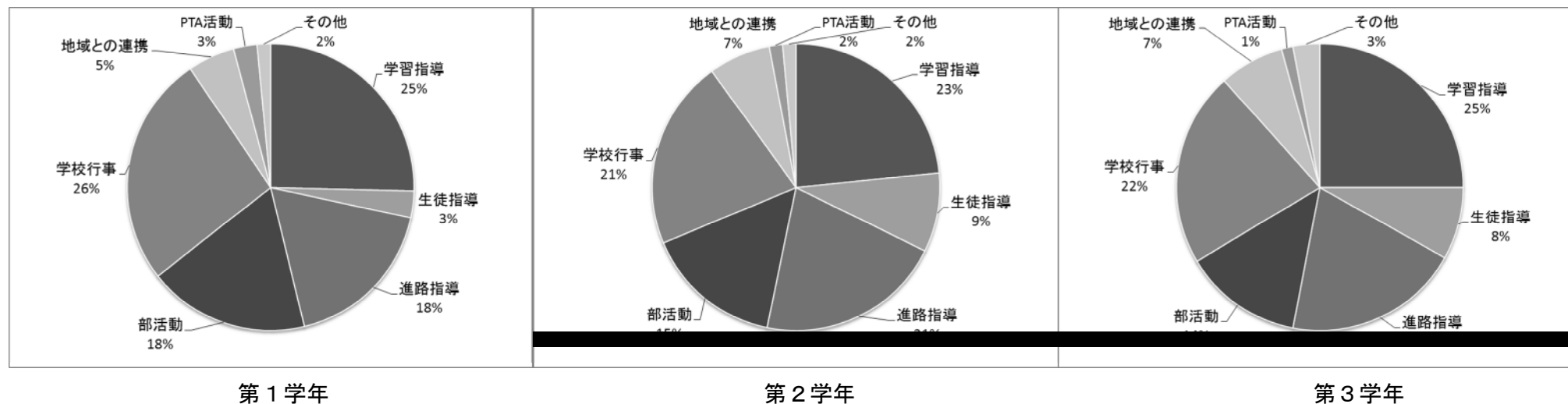
上の表では昨年度の回答から上位項目に変化が見られ、三者とも一致した項目がなくなった。下位項目では、教員の回答傾向に変化が見られたものの、それ以外は昨年とほぼ同様の傾向を示している。特徴としては、保護者の「確かな学力」育成への要求が高くなっている。生徒の回答から昨年と比較して「確かな学力」の育成への期待が高まっていることが受け取れる。一方、教員の回答の上位項目は昨年と変化はない。今後、生徒や保護者の回答傾向を考慮しながら、指導を行っていくことが必要だと考えられる。

項目 2 質問内容

次のうち、仙台高校の学校教育において今後特にどの活動の充実化を進めていくべきとお考えですか。

1. 学習指導
- 2 生徒指導
- 3.進路指導
- 4.部活動
- 5.学校行事
- 6.地域との連携
- 7.PTA 活動
- 8.その他

項目 2 生徒学年間比較



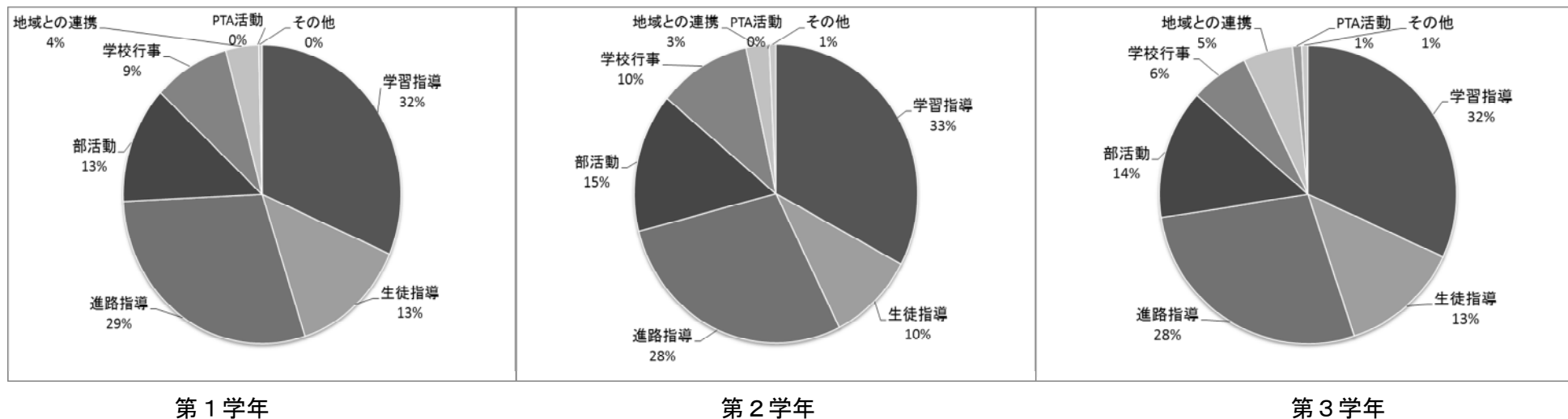
[結果]

生徒の回答割合は、上位から順に「学習指導」、「学校行事」、「進路指導」となっている。また、このうち上位 2 つについては、割合が 20%を超えている。これは、昨年度と比較して生徒の「高校で身につけたいもの」の回答傾向のうち、「確かな学力」が上昇していることとも関わることであろう。

そして、第 3 学年で「進路指導」と回答した者の割合が昨年と比較して 4%ほど低くなっている。このことから、昨年と比較して今年はより充実した進路指導を受けることができたと考えている生徒が第 3 学年で増加したのではないかと考えられる。

一方で、昨年に引き続き、「地域との連携」や「PTA 活動」については低い割合となった。地域から生徒が通学してくる小中学校とは異なり、広域から生徒が通学してくる都市部の普通科高等学校においては、地域との連携には限界があるため、生徒からはこれらがあまり理解されていない可能性が考えられる。

項目 2 保護者学年間比較



[結果]

昨年との比較で特筆すべきことは、「学習指導」の充実化と回答した保護者の割合がどの学年でも 30%以上と高くなっていることである。これは昨年と比較して 4~5%上昇している。このことから、保護者の「学習指導」充実化への期待は、前述の「確かな学力」を育成すべきとする回答と併せて大変高まってきていると推測される。また、「学習指導」の次に高い値である「進路指導」についても、昨年並みに高い割合となっている。

「PTA 活動」については、総務と健全育成、進路対策、調査広報、推薦からなる 5つの専門委員会が、学校教育の円滑な運営に資するための活動を年間通して活発に展開していることから、さらなる充実を求める値が低くなっているものと考えられる。

項目 2 生徒・保護者・教員三者間比較

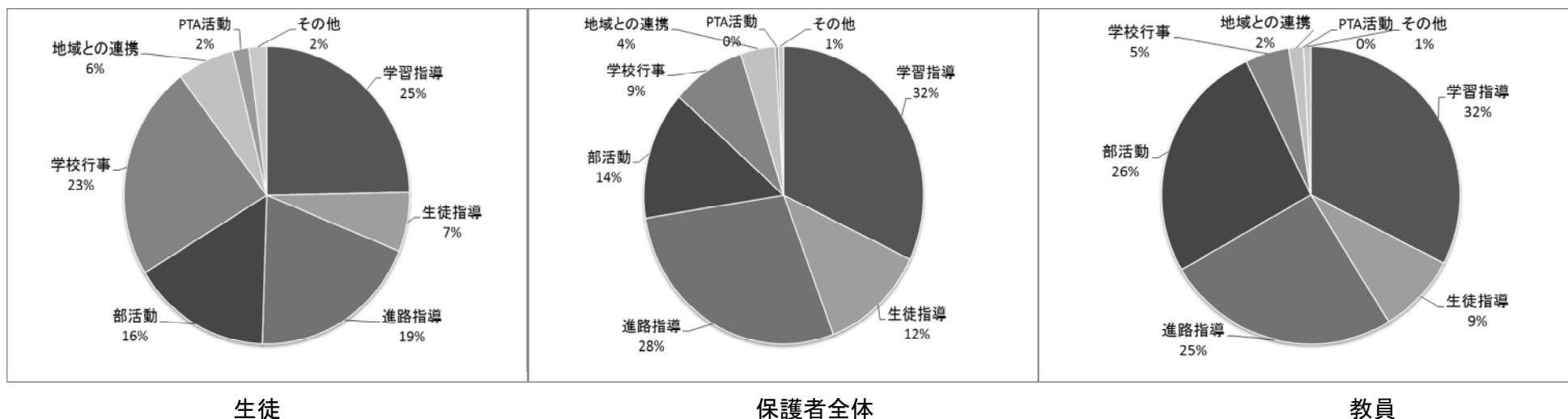


表 1-3 三者間の回答傾向の比較(左の選択肢ほど回答者の割合が高い)

生徒	学習指導	学校行事	進路指導	部活動	生徒指導	地域との連携	PTA活動
保護者	学習指導	進路指導	部活動	生徒指導	学校行事	地域との連携	PTA活動
教員	学習指導	部活動	進路指導	生徒指導	学校行事	地域との連携	PTA活動

[結果]

上の表をみると、三者とも最も高い回答割合となったのは「学習指導」で一致している。しかし、「部活動」の項目に注目すると、生徒の「部活動」の回答割合が16%、保護者の「部活動」の回答割合が14%であるのに対し、教員では26%と高くなっていて、「部活動」に対する教員と生徒・保護者との考え方の違いが浮き彫りとなった。一方で、「生徒指導」の割合が低くなっていることは、前述したとおり、生徒の生活態度が良好であることを示していると考えられる。

今年度は、24件の貴重なご意見をいただきました。ご意見の中で多かった、「授業」と「進路指導」に関するものについて、学校としての回答をいたします。

1 本校の45分授業について

本校では授業1コマ45分で週35コマ(45分×7コマ×5日=1575分)の時間割を採用しています。50分で週30コマ(50分×6コマ×5日=1500分)の時間割より総時間数が増えることに加え、進路にあわせた多彩な選択を組み入れることができます。また、英語、数学、国語の週当たりの授業を増やせるため、毎日継続的な学習ができます。一方、難関大学合格を目指す他校には50分で週35コマ(=1750分)といった時間割を採用している学校もあります。この場合、授業終了が16時頃になり、部活動の開始は16時30分頃からになります。本校では授業終了が15時30分、部活動の開始が15時50分頃からになります。

部活動については「生徒の人的成長を助け、さらに生徒に生きがいを与える」など大切な教育活動の一部と考えております。そのため、学習時間と部活動時間との調和を図り、現行の時程を採用しています。

50分授業に比べて5分間授業時間が少ないため次のような対策をしています。

- ① 長期休業を短縮するなど、年間授業日数の確保に努めている。
- ② 始業ベルの5分前の授業準備や始業ベルと同時の授業開始に努めている。
本校の生徒は教室移動を速やかに行うことから、次のことが可能となっている。
 - ・科目によっては開始5分前から前時の復習板書を始められる。
 - ・プリントなどの返却配付を開始5分前から始める。
 - ・体育では準備運動は始業ベルの前に済ませる。
 - ・生徒の演習の板書も開始5分前から始める。
- ③ 授業の質的向上に努めるため、宮城教育大学と連携した公開研究授業を実施し、「分かるだけではなく、できるようになる」授業に努めている。

2 本校の進路指導の現状について

本校はここ数年間、国公立大学合格者数及び在仙私大の合格者数において大学入試模試偏差値が同等である県内の学校の中でも他校を引き離れた好成績を残しています。

その要因としましては、数年前から本県におけるキャリア教育の先駆け(平成21年キャリア教育文部科学大臣表彰)として、第1学年より全職員による学問別ガイダンスなどを通しての「志や動機づくり」などのキャリア教育の充実、部活動・生徒会活動・学校行事などの課外活動を通しての「人間力や根気づくり」、宮城教育大学と連携して実施している「公開授業研究」など、総合的な指導を通して進路実現を図っているところにあります。

第3学年においては、平日課外・土曜課外や学習合宿にとどまらず個人指導も活発で、第3学年の生徒120人あまりを対象とした小論文の添削指導も全職員総掛りで行うなど、土日や夜遅くまでの指導など教職員も情熱を持って指導にあたっています。このような教職員と生徒の双方の熱意の相乗効果によって、進路実績を向上させています。第一志望とする生徒が最も多い東北学院大の合格率も、かつては2割台だったものが4割近くまで上昇していることなど確実に結果は出てきています。今後も現状に甘んじることなく、生徒の進路希望実現に向けて更なる努力をして参りますが、進路指導につきましてご意見やご相談がございましたら、進路指導部までご連絡下さいますようお願いいたします。